

## 令和2年度第3回香美市まちづくり委員会 会議概要

### 1 概要

日 時 令和3年3月24日（水）午後6時30分～午後8時30分

場 所 香美市役所3階会議室

出席者 まちづくり委員13名、事務局（企画財政課）4名、定住推進課2名、  
健康介護支援課2名、環境上下水道課2名

欠席者 9名

### 2 開会のあいさつ（会長）

### 3 議題

- (1) 協働の取組に関する課題と対策について（各担当課職員とのグループワーク）  
＜事務局からの説明＞

本日の会議では、前回のテーマ別の班に行政職員を加えて議論を掘り下げる。会議の目的は、市民と行政それぞれの視点から課題と対策を挙げていただき、対策の実現手段を協働で考えることによって、委員と担当職員との間で共通認識を持つこととしている。

＜各班の発表＞

テーマ①「協働のパートナーとして存続させるための自治会のあり方」

#### ○ 対策案

- ・公民館維持の補助
- ・イベント、クラブ活動の実施
- ・加入者、未加入者の差別化（メリットの明確化）
- ・転入者への情報発信
- ・役員の役割負担の軽減

#### ○ 実現するための手段

- ①程よい補助金制度（自治が崩れない前提、あまり補助金をもらおうと住民自治に影響し自治会が下請け機関になってしまう恐れあり）
- ②加入率を上げる補助制度（地域活性化総合補助金を改良し、加入率を上げるための事業を補助対象に加える。例えば物を配布する、加入者特典の付与などの事業）
- ③自治会同士の情報交換の場の創出（10以下くらいの自治会の集まり）

#### ○ 市民と行政の役割分担

##### ①行政主体

- ②協力（自治会：会長と役員がチラシを持って未加入者を勧誘する 行政：転入の際に加入促進のためのチラシを渡す、ホームページを加入したくなるような内容へ充実させる）

## テーマ②「介護予防」

### ○ 対策案

- ・高齢者にもできる子育て支援（孫育て講座などに取り組んでいる事例あり、野菜の切り方、紐の結び方などを子どもたちに伝えていくなど）
- ・延命治療を受けなくて済むよう健康寿命を延ばす（子どもであれば生活習慣、成人であれば成人病、高齢者は認知症予防などの切れ目のない取組をしていかなければならない）
- ・介護予防に関する取組を積極的に広報する
- ・市民同士で介護予防について話し合う機会を作る
- ・死生観、老後をどう生きどう終わりを迎えるか（終活講座、お葬式やしきたりや文化が分からなくなってきた）

### ○ 実現するための手段

#### <広報>

量販店に市の告知板を設置する

#### <場所>

- ・みんなが気軽に集まれる場所があれば良い
- ・市バスの乗り入れをして欲しい

#### <募集>

取り組んでくれる人を募集する

### ○ 市民と行政の役割分担

#### <広報（協力）>

行政：告知板の設置、ポスター、お金のかかるもの

市民：口コミ、関係するところでどんどんPR、友達を誘う

#### <場所（行政主導）>

- ・学校、公民館、公共の施設、地域の集会所
- ・例えば商店街の空き地にプランターを設置して花を植え、座る場所を構えることによって世間話ができるような空間作りができれば良い

#### <移動手段（行政主導）>

- ・プラザへの市バスの乗り入れ
- ・タクシー代補助（健康パスポートでタクシー代を割引できる仕組み）
- ・バス停まで歩く

### ○ その他

- ・健康パスポートのシールをもらえる事業を増やす
- ・健康パスポートは良い取組だが知らない人が多い
- ・全体を通じて一番大事なことは、人は頼りにされたり必要とされることが一番の健康長寿の秘訣ではないか。一人にしないしないということが大事

### テーマ③「ごみ問題」

#### ○ 対策案

- ・仕様がしっかりしたごみステーションを市が調達して置くこと（行政が実施）
- ・学生や若者に分別のルールや日時を周知する機会を設けること（市民と行政が協働で実施）
- ・ごみステーションにごみ出し日時の看板を立てる（市民と行政が協働で実施）
- ・高齢者が便利のように、ごみステーションを区域内に何カ所か置く（市民が実施）
- ・ごみをステーションまで持っていきができない高齢者の方などは民生委員やボランティアに持って行っていただく（市民が実施）
- ・ごみの分別が必要な理由をパンフレットや広報により周知し、住民に理解してもらおう（行政が実施）
- ・ごみの出し方に関するモニターチェックを実施する。一定期間、モニターチェックをして綺麗にゴミ出しができるようになったらモニターを終了する（市民と行政が協働で実施）
- ・ごみの減量化

#### ○ 実現するための手段

- ①ごみステーションの設置の条件、申請方法が不明。設置の条例等が定められていないため明確化する。市民からの提案が必要
- ②カラスよけネットを配布できることについてPR、設置後の管理は住民中心
- ③家の近くにごみステーションを置かれることへの反対があるので利用者同士で片付ける
- ④高知工科大学の入学式のオリエンテーションでごみの分別について話す
- ⑤土佐山田では地域や民生委員が協力している（会に出席してお願い等をする）
- ⑥個別に高齢な方の家に取りに行くことを検討
- ⑦理由をより明確にして環境意識を高める
- ⑧ごみのコンポスター等の補助金の周知

#### ○ 市民と行政の役割分担

- ①協力・情報共有
- ②協力・事業協力
- ③市民主導・補助助成
- ④行政主体
- ⑤協力・事業協力
- ⑥行政主体
- ⑦協力・情報共有
- ⑧行政主導・情報共有

テーマ④「市民と行政の協働のあり方」

○ 対策案

- ・ 事案に詳しい専門家を利害無しにヒアリングできる（一定報酬あり）
- ・ 市民と行政が情報交換を行う仕組み
- ・ 問題解決につながる流れをつくる

○ 実現するための手段

- ① 広報等でのアイデア募集（SNS会を開くなど）
- ② 協働推進計画・対策に盛り込む
- ③ 協働を考える場をつくる

○ 市民と行政の役割分担

- ① 行政主導・情報共有
- ② 市民と行政の協力
- ③ 行政主導

(2) 第3期香美市まちづくり委員会活動報告書について

- ・ 委員会の活動の区切りとして活動報告書を作成した。この内容で市長宛てに提出してよろしいか。ご意見があればいただきたい
- ・ 委員名簿は添付しないのか  
→資料として添付する

4 閉会